

特別会計

国保の運営見込みは

国保会計

問 国保の財政調整基金の年度末残高は無いに等しいが、一般会計の負担のあり方と今後の運営の見込みは。

答 基金へは21年度の出納整理期間（翌年度の5月31日まで）に、2000万円を積み立てました。基金の機能が果たせる額は、医療給付の5割程度が目安で、約5000万円が目標と考えています。

今の経済情勢では税率改正は考えにくいことから、事務費の一部や県からの借入れの返済にも2分の1を一般会計から繰り入れるなど、運営の健全化に努める考えです。

医療給付の節減対策

国保会計

問 調剤部門でのジェネリック

医薬品（注）の普及により、患者と町相互の負担軽減が図られると思うが。

答 町では、保険証の切り替えの際に、「ジェネリック医薬品希望カード」を添付したチラシを配布しています。

また、年間で糖尿病は8840円から11390円、高血圧は6803円から7556円程度が、節約になるという事例を掲載したパンフレットを作成するなど啓発に努めています。

(注)ジェネリック医薬品

製薬会社が開発した医薬品の特許が切れた後に、別のメーカーが同じ有効成分でつくる薬のこと。最初に開発された薬と同等の有効成分で同等の効き目がありながら、価格が安い。

不納欠損の状況等は

国保会計

問 15年度分までを不納欠損とした状況と、16年度以降も不納欠損が予想されるが対応は。

また、徴収率が73割であるが、

ら繰り入れ、病院の経営健全化に努める考えです。

③純利益が増加し、マイナス要素の累積欠損金が減ると収支が良くなり、流動比率も高まってきます。

④若干改善されましたが、まだ常勤医3人の体制で厳しい診療体制です。

入院患者は若干減少、外来患者は昨年並みで推移しており、改革プランに沿った収支をほぼ達成できると思います。

向上に向けての努力は。

答 一般会計と同様に差し押さえなどを行ない、他に価値のある資産等が無いとの判断です。

なお、16年度以降も国保税は課税していますので、家庭訪問や連絡を密にするなど、引き続き努力をする考えです。

また、徴収のあり方は、昨年度初めて公売を実施し、法的な手続きも含め徴収率の向上に努めています。

水道使用料未納等は

簡易水道

問 現年度分68件、21万9165円が未納であるが、収納への取り組みと不納欠損の内容は。

また、使用料の時効年限は。答 給水停止の措置なども行いながら、収納に努めています。

不納欠損については、会社の倒産により管財人と協議した結果、国・県税や町税等が優先され、使用料の優先順位は下位であり、徴収が見込めない状況です。

なお、使用料の時効は2年です。

安全な飲料水確保を

簡易水道

問 ①水道普及率89・8割。残り10・2割の飲料水の確保は。②今後、配水管の交換などが必要な簡易水道の順位は。③水道メーターの耐用年数と交換する頻度は。



安全・安心な飲料水の確保対策が望まれます

答 ①昭和30年から40年代頃に事業等で施設を設置し、集落で共同管理している状況です。

②最優先施設は、江川簡易水道

病院の健全経営対策

病院会計

問 ①対前年度比で、救急医療確保、不採算地区が大幅に伸びている理由と今後も安定的に確保されるかどうか。

②累積欠損金の解消に向けて、一般会計と病院会計のかかわりは。

③不良債務と一時借入金、流動比率（短期的な支払能力を表す比率）等の関係は。

④新しい病院長の下で、今年度前期の経営内容等は。

答 ①特別交付税は、交付税全体の6割以内で配分されます。例えば、災害等が多い年は抑制される傾向にあり、安定的な額ではないと考えています。

②3年間の改革プランの中で、5000万円ずつを一般会計か



総合医療情報システム導入で受付もタッチパネルに

賛成討論

小谷地喜代治議員

要約

わたしは、21年度一般会計決算及び6件の特別会計決算について、認定することに賛成の立場から討論します。

まず、一般会計については、町総合発展計画に掲げた重点プロジェクトである地域情報化基盤整備や体験交流施設の整備が行なわれました。

町民の生活支援策では、定額給付金の支給が99・9割という高い給付率となり、世界的流行となった新型コロナウイルスの感染予防対策として、予防接種費用への助成や各公共施設に感染予防の加湿器を購入・配備するなど、万全を期しています。

産業・商工振興では、原油価格や農業資材の高騰に対応した経営支援、安全で効率的な林業の実現に向けた高性能林業機械の導入。さらには、まちなか活性化イベントの開催やプレミア

ム商品券の発行などに、積極的な支援が行なわれました。

防災対策では、水槽付きポンプ自動車と小型動力ポンプ積載車を更新したほか、消防団員の活動服を新たに購入し、災害に迅速かつ的確に対応できる体制づくりを進めました。

教育振興では、葛小校舎の耐震補強工事や葛中グラウンドの整備、学校情報通信技術環境整備事業による教育環境の充実に取り組みとともに、葛巻高校に給食を取り入れるなど、魅力ある学校づくりに努めました。

次に、特別会計である病院事業会計については、医師確保に向けた住宅の整備、医療サービス向上のための総合医療情報システムの導入が行なわれました。また、長年厳しい経営状況にありましたが、交付税及び一般会計からの繰り入れなどにより、累積欠損金も減少し大きく改善されています。

しかし、いくつかの懸念すべき課題が見受けられることから、安定的な財政運営に努められるよう一層の取り組みに期待します。